

社内報 8 月号

株式会社NITTOH

甲信倉庫拡大

信州松本の地で頑張っている甲信営業所では、倉庫がかねてより手狭になってきたので、7 月より現在借りている倉庫の隣も賃貸することになりました。住宅メーカー様の防水工事を主体に営業をしていますが、品質の異常やクレームもほとんどなく、まじめな仕事ぶりで、信頼も厚く少しずつではありますが着実に業務を拡大しています。長野、山梨、時には群馬と日本の中心で広範囲に頑張っています。

IR エキスポ

名古屋市吹上ホールで、7 月 15 日、16 日の二日間今年も IR エキスポが開催されました。今年も大変な賑わいで、株式投資への人気の高まりを感じます。当社ブースも大勢の人が訪問されていました。上場して早いもので 16 年です。知名度も徐々にではありますが、着実に向上しているようです。やはり、株式を分割して流通する株式数が増えて売買量が増えたことが関心を高める大きな要因になったと思います。とはいえ、まだまだ規模的には上場企業としてはとても小さいので、もっともっと売上、利益を増大させていく必要があります。

不動産課マンション6物件販売中

不動産課で仕入れていた中古マンションのリノベーションが相次いで完成し、販売を始めます。同時に6物件の販売になります。詳細の情報はデアールのホームページに掲載されています。リノベーションの質、価格、保証などどれをとっても、お客様にとって安心でメリットのある商品になっています。賃貸等に住まわれている方には、現在の賃貸費用と返済額、利便性や快適性の向上など考慮すると、借り入れが可能ならば購入された方がゼツタイお得になると思います。

活発に採用活動を継続中

今年は例年になく途中で入社する社員が多くなっています。各地で工務系社員も営業系社員も、また、経験者の方も、未経験者の方も、入社していただいています。当社の社員、協力業者様にも高齢化が進んできていますので、若返りを期待し、30代40代のかたが、自主的にまた責任感をもって会社を引っ張って行って欲しいと思います。新たに入社された方も、遠慮することなくどんどん力を発揮して活躍していただき、会社へ貢献してもらえればと思います。今後の会社の成長には、新しい力が不可欠です。

運動不足による経済損失は年7兆円

日常的な運動不足に起因する健康問題により引き起こされる世界の経済損失は、年7兆円にのぼるという論文が発表されました。これは、運動不足

により、ガン、糖尿病、心疾患、脳卒中などになり、それにかかる医療費などをまとめたものだそうです。医療費だけですから、現実的には仕事ができなくなったり、生活をエンジョイできなくなったりということもありますから、そうした経済損失を数字化することは難しいことと思いますが、実際の損失はもっともっと大きなものであることは間違いないところでしょう。当たり前のことですが、毎日8時間以上デスクワークする人は、特に運動不足であり、どの程度のハードさはわかりませんが、1日1時間以上の運動をすることが望ましいようです。当社は、人により個人差はありますが、仕事上、現場に行くことも多いので、体を動かす機会も多く現代社会では恵まれた環境なのかもしれません。外で体を動かして仕事をするよりも、クーラーのきいた部屋で1日中パソコンに向かって仕事をするのが、経済損失をまねく不幸な環境と言えるわけです。とにかく、健康は、個人にとって何よりも大切な財産で、会社にとっても社員の健康は財産です。資格がある、能力がある、経験があるといったことも、もちろん社員にとっての財産であり会社にとっても財産ですが、健康であるということが大前提です。健康的な会社を目指していきましょう。

労災事故が発生

先日、名古屋市内の防水現場で、ベランダから荷降ろし中に誤ってスライダーから転落するという事故が発生しました。スライダーは、固定され、ベランダ側からの昇降には脚立が設置され、仮設の昇降設備として不備はありませんでした。ただ、荷をもって昇降をしたことで、体のバランスを崩したことが要因でした。荷の揚げおろしはロープ等で行い、昇降時は、三点支持で安全に配慮して行うということを再度徹底するようにお願いします。

読書のすすめ

「修身教授録」 森信三・著

読書の書評などで、ロングセラーとしてよく紹介されており、読まれたことのある方も多いと思います。著者が、教鞭をとっていた大阪天王寺師範学校(現在の大阪教育大学)で、行った道徳教育=修身の授業の2年間(昭和12、13年)分の講義録なのですが、教育界のみならず、ビジネスマン、経営者にも高く評価されており、愛読書として何度も読み返していると言われる方も多くいます。これから教師になろうとする若者に語った話なのですが、経験、体験に基づいて、2度とない人生を、この現実の世界でいかに生きていくか、といったことが平易な文章で書かれています。お子様をもつ方も、是非、読んで欲しい本です。

コラム「会社への貢献、世の中への貢献とは？」

私たちは誰ひとりとして一人では生きていきません。仕事があるのも生活ができるのも、多くの社会の恩恵を受けているからこそです。それなのに、そうした自覚なしに、「個人の自由だから。自分のや

りたようにやる権利がある。」といった主張をする人がいます。そうであるならば自分が世の中から受けている恩恵は、すべて返済をして、今後はそうした恩恵を受けずに一人で生きていくべきなのです。もちろん、そんなことはできないわけですから、自分で好きなようにするとか、他の人にこうして欲しいと要求するまえに、自分が他の人のためにしてあげられることは何かを考えないといけません。それが平等というものであり、謙虚であるということです。謙虚さは、自分の貢献に対して世の中から受けている恩恵の方が多という認識、もしくは自分は幸せ者であるという自覚から生まれます。自分ができていることは少ないのに、こんなに人の世話になっている。だから、周りの人のために少しでも喜んでもらえるように頑張ろうという考えです。企業の中で考えたならば、若い人は体力があるのですから、おそらく他の人より優れていることはそれしか今の時点ではないのですから、体力を使ってハードに働くのは、むしろ自然なことです。また、自分の知識、技量、お客様からの評価といったものに対して、自分が受けている待遇について謙虚な認識があれば、それに応えようと頑張るのは当然なことです。また、上の立場にある人は、今までに対する感謝、自分にも未熟で若い時があったわけで、それでも仕事をさせてもらい何とか生活をさせていただいていたわけですから、それに対する恩返しとして、より仕事を発展させて、多くの人を雇用できるようにして、一緒に働いている人たちの給料を少しでも増やしてあげられるように、つまりより多くの利益をあげられるように、また、事業が持続するように少しでもお客様に喜んでいただけるように、世の中に還元していく責任があります。人の上に立つ人が、安易に事業を縮小させて、また、人を減らしながら自分だけは生きながらえたりとかするのは、無責任な考え方です。世の中は変わるわけですから、部門長はじめ、上に立つ者自らが、挑戦し、変革していく気持ちがないとその部門は、だめになります。いくら言葉で綺麗事を言っても、自分の行動が全てを物語ります。「事なかれ主義」的で、仕事を作っていくのではなく減らしていくことしかできないという人は、ちょっと口が上手くて一見賢そうに見えたりしますが、どうしようもありません。何かを変えようとする教育制度が欲しいとかいう話がでたりしますが、線路がないと進めないと言っているようなもので、自分で道を作るぐらいの気持ちをもたないとだめです。そういう人がどれだけいるかで、会社の将来が変わってきます。勉強は自分のお金で自分の時間でするものです。誰かが道をつくり、教育制度を整えてもらわないと勉強できない人は、結局いつまでたってもしない人で、現実に、出来る人は、黙っていても自分でいつのまにか資格をとってきていますが、会社で講習会の費用まで出さないと資格をとってこない人に資格を取らせたとところで、その後の会社への貢献は大したことありません。どうしていいかわからない状況下で、打破していくから価値があり、それが本当に強い人間を育てていくわけで、教育制度がないのが最も優れた教育制度とも言えます。上の人

は、一緒になって愛情をもって、失敗も許して、ともに挑戦するという若い気持ちを持ち続けるだけでいいのかもしれませんが。強く、たくましく、企業を発展させる事が、働いている人の幸せにも貢献でき、結果として世の中への貢献にもなり、また自分の幸せにも繋がっていきます。キリスト教の教えには、世の中のためにといったことは、全くできません。ただ「隣人を愛せよ。」と言っているだけです。日常生活の中で出来ることは、謙虚に愛情をもって今ある場所で頑張るだけ、ただそれだけのようです。

CS研修のお知らせ

8月24日 ウィンク愛知 18:30より

9月13日 浅草橋ヒューリック 19:00より

9月14日 TKPガーデンシティ京都
15:00より

みなさん遅れないように御集り下さい。
また、名古屋の会場は、余裕がありますのでお取引様、お客様、協力業者様などへもお声かけ下さい。

故石黒智明さんのご冥福をお祈りします。

福井県の海水浴場にて、水難事故にあわれた石黒智明さんは、住宅メーカー様の10年点検でご活躍され、お客様にも大変高く評価されており、会社へ大変貢献していただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

施工事例紹介

- 施工場所：寝屋川市 N様邸
- 工事名：浴室・洗面 改装工事
- 仕様：FUKUVI バスマニール・バスパネル、他



浴室工事前



浴室工事後

■担当：阪神営業所 中井 真生

N様邸、浴室・洗面室の改装工事を行いました。

N様は当初、ユニットバスへの改装工事をご希望されていたのですが、既存浴室には、入り口が2箇所ありユニットバスでは入り口が1箇所となるプランでした。しかし、入り口2箇所は生かしたままでの改装をご希望された為、今回はユニットバスではなく、バスパネルを採用して改修工事を行いました。同時に洗面室の化粧台の交換工事等を行いました。

仕上がりがイメージ通りと言って頂き、大変喜んで頂きました。

入社社員紹介

★西田 数馬 総務部 主任 35歳

趣味：サイクリング、料理

「別業界からの転職です。一日でも早く戦力になり会社に貢献したいと思います。よろしくお願いします。」

★中谷 真也 リニューアル工事部 34歳

趣味：映画観賞

「皆様へ何かとご迷惑お掛けするかと思いますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。」

★大島 悠介 法人建設課 36歳

趣味：映画観賞

「皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いします。」

★田村 拓也 防水課 東京営業所 36歳

趣味：ドライブ

「至らぬところがありますが、精一杯頑張ります。」

ちょっと一言

「ありがとう」の気持ちを大切に



リニューアル工事部
稲垣 智子

皆様、暑い中お疲れさまです。リニューアル工事部の稲垣と申します。私事で恐縮ですが、この7月で結婚10周年を迎えました。当時、結婚式と旧別館(現駐車場)→本館2Fへの事務所引越の日が重なり、式翌日新居に帰る前に事務所に立ち寄り、段ボールを開けながらバタバタと身の回りの片づけをしたことを思い出します。それから出産を経て、現在は短時間勤務ですが、職場復帰も果たすこともできました。子供が産まれてからは毎日が慌ただしく、時間があっという間に過ぎていきますが、この10年間大きな事件もなく、毎日をつつがなく過ごしているのは本当にありがたいことだと思っています。現在第3子を妊娠中で、3度目の育児休暇を取得させて頂く予定です。当社は育児休暇取得経験者が多く、復帰後も仕事と家庭を両立して働いている方がたくさんいらっしゃいます。育児にも理解があり、恵まれた環境の中で仕事をさせて頂けることにとっても感謝しています。

「ありがとう」という感謝の言葉はとてもいいもので、日常生活でも何度も登場します。家事を手伝ってくれる夫に対して、通勤中に電車で席を譲ってくれた女性に対して、仕事中に倉庫で重い荷物を運んでくれた男性社員に対して、保育園にお迎えに行った際先生に対してなど…「ありがとう」を挙げればきりがありません。先日長男から食事中に「ごはんつくってくれてありがとう!」と言われ、心が和みホックリしました。感謝の気持ちを持ち続けることも大切ですが、それを相手にしっかり伝えることも重要だということを改めて長男から教えられました。

最後になりましたが、今年は例年以上に暑い夏になるようです。現場作業の方は特に大変かと思いますが、水分・塩分補給、体調管理には十分に気を配り、猛暑を乗り切っていきましょう!

★Happy News★

お誕生おめでとうございます

★春日井店 出口店長 男児誕生